

校 園 長 室 か ら



学 校 教 育 目 標

共 に 学 び 共 に 伸 び る 子 ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和6年7月26日 第15号

思 い 出 し た こ と

蝉の声はやかましくて、朝寝ができない日々が続いています。

みなさんは、早寝早起きできていますか。

先日、あまり通らない道路を運転していて、あまり止まらない交差点の信号に引っ掛かり、ぼんやり周りを見渡していると思わず叫んでしまいました。「あっ、あの店が焼肉屋になってる」と。

二十数年前のこと、異形制服で登校し、なかなか指導に従わない生徒がいました。いろんな話をして、着替えて教室に入るのですが、異形制服のかわらぬさを語って、なかなか改善しませんでした。

ある時思いついたのです。「ちょっと晩ご飯食べに行こか。一番かっこいい服着ておいで」と彼の母親の了解を得て、ちょっとお金のかかるレストランへ連れて行ったのです。そこは、ふかふかの赤い絨毯が敷き詰められていて、座った席の前には何本ものナイフやフォークがギラギラに並んでいました。当然誘った彼は、ボンタンと呼ばれた自慢の異形制服を着ていました。

「先生、俺なんか辛くなってきた」と最後のデザートを食べ終わるころつぶやいていました。

月日が流れて数年前に同窓会をしたとき、そのときのレストランでの恥ずかしい思いをあらためて語ってくれました。そのときの彼はビシッとスーツを着て立派に成長を遂げたことをそっと教えてくれました。

「先生、あのときのお礼です」とそっと差し出された一升瓶を見て涙がでてきました。帰ろうと近くの駅まで送ってもらい電車へ。

しばらくたって連絡が入ります。「先生、一升瓶忘れてるで」と。

成長していないのは、私ばかりかと反省した夜でした。